

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【公開番号】特開2003-133941(P2003-133941A)

【公開日】平成15年5月9日(2003.5.9)

【出願番号】特願2001-330949(P2001-330949)

【国際特許分類第7版】

H 03 K 19/0175

G 11 C 11/417

H 03 K 17/16

H 03 K 17/687

【F I】

H 03 K 19/00 101 J

H 03 K 17/16 L

H 03 K 17/687 A

G 11 C 11/34 305

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月13日(2004.8.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

前記出力駆動回路は、

前記第2の電源電圧を動作電源電圧として受け、前記第2のラッチ回路の出力信号をバッファ処理するバッファ回路と、

前記バッファ回路の出力信号に従って選択的に導通し、導通時、前記主出力ノードを前期第2の電源電圧と極性の異なる電圧レベルに駆動する第2の出力トランジスタとを備える、請求項2記載の半導体装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

好ましくは、この出力駆動回路は、第2の電源電圧を動作電源電圧として受け、第2のラッチ回路の出力信号をバッファ処理するバッファ回路と、このバッファ回路の出力信号に従って選択的に導通し、導通時、主出力ノードを第2の電源電圧と極性の異なる電圧レベルに駆動する第2の出力トランジスタとを含む。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0115

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0115】

また、出力駆動回路として、第2のラッチ回路の出力信号をバッファ処理する回路と、このバッファ回路の出力信号に従って主出力ノードを駆動する第2の出力トランジスタと

で構成することにより、簡易な回路構成で、第1の電源電圧供給遮断時に、確実に主出力ノードを出力ハイインピーダンス状態に設定することができる。